

だれもが払える国保税に

国保税の均等割は、ゼロ歳

の子どもから74歳の方まで全員が納めないといけない制度で、子どもが多いほど保険税が増える制度となつていま

す。安江ゆう子市議は、子育て支援のために18歳未満の子どもの均等割を免除し、保険税の軽減を求めて質問しまし

た。

安江 18歳未満の子どもの均等割りを免除の考えはありませんか。

市長 新たな減免制度の為には、財源確保が要る。現在のところ、松浦市独自の減免制度創設は考えていない。

げんきっぴろばの存続を

松浦市ふれあいセンター（通称げんきっぴろば）では、発達に支援が必要な子どもを対象に、児童発達支援事業と放課後デイサービスが松浦市直営で行われ、親子通園などの充実した支援サービス

の療育支援を続けて欲しいとの切実な声があり「私たちの事を私たちが抜きで決めないで下さい」というのが一番の思いでありました。その様な中、2月7日・5月8日・5

月31日の『報告会』で、今後の事を報告されたが、『報告会』という手法は取るべきではなかったと考えますが、いかがですか。

市長 げんきっぴろばは、以前から民間委託事業であったが、民間事業者が撤退をしたと申し出があったため、28年度から暫定的に松浦市直営で行ってきた。1月に民間事業者から児童発達支援を受け持たたい、げんきっぴろばが担ってきた親子通園は出来ない、と申し出があった。この為、2月27日に報告し、5月8日、意見交換会を行い、5月31に改めて意見交換会を行った。決してやるべきではなかったとは思っていない。

安江 ふれあいセンターが解体されるとしても、行われてきた事業が必要という利用者の総意であれば、続けるべきで、代替えサービスを検討しておくのが一番の基本ではないでしょうか。

市長 当初から民間委託を前提にスタートした事業。事業者の撤退により、暫定的な措置として行政が担ってきた。民間業者がやるという事であれば、民間に委ねて行くのは限られた財源の上ではやむを得ないと思っている。しかしながら、必要な方が必要な支援は続けて行かなければならないから、親子通園、親子教室、親子支援の中心でしっかりと担って行きたい。

安江 げんきっぴろばで



西日本豪雨災害のお見舞いを申し上げます

7月5日から降り続いた豪雨は、西日本の各地で甚大な被害をもたらしまし

た。松浦市でも、道路や農業関係にたくさん被害が出ています。心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧を願います。道路災害の復旧までの段階取りは、災害内容を国に報告し、国の災害査定を受けま

り、着工となります。災害の早期復旧を目指されますが通行再開には期間を要します。

松浦市内の主な被害状況（松浦市役所での聞き取りより）

道路災害	志佐浦中央線（辻の尾地区）法面の崩れ	
	福島町此ノ浦線一部道路崩壊	
	平野半島線一部道路崩壊	
農業関係災害	農地・施設	37カ所
	倒壊 1棟	
	ビニールハウス	ビニールはがれ 20カ所
	農道	西庄線

日本共産党は、7月7日に災害対策本部を立ち上げ被災者の救援に全力を尽くしていきます。

現在、災害救援募金を受け付けています。ご協力いただける方は、お近くの党員、党議員、または郵便振替口座へ送金してください。

お寄せいただいた募金は、責任を持って、全額被災地へお届けします。

▼口座番号 001709140321

▼加入者氏名 日本共産党災害募金係

いっしょうけんめい 安江ゆう子市議

5月27日 障害者スポーツ大会（諫早市）



7月14日 養殖祈願祭（御厨港）



6月9日 松浦魚市場食堂・販売所がオープン



7月28日 海光園の夕涼み会



6月17日 松浦市中学校総合体育大会陸上競技大会

7月29日 松浦アールスメロン祭り

